

## 第 11 区

定数 15 名 候補者 15 名

候補者氏名（受付順）

1. 氏名 2. 生年月日 3. 主たる勤務地 4. 経歴 5. 抱負 6. 現職/新任/再任

1. 井本 滋 2. 1960/6/8  
3. 杏林大学医学部乳腺外科  
4. 1985 年 4 月慶應義塾大学病院 外科  
1992 年 10 月国立がんセンター東病院 乳腺外科  
2005 年 4 月杏林大学医学部 乳腺外科学教授  
2018-22 年日本乳癌学会 理事長  
2020 年 4 月日本外科学会 理事  
5. 乳癌のセンチネルリンパ節生検とラジオ波焼灼療法など機能温存手術の開発に取り組みました。これまで医学用語委員会、専門医制度委員会、英文誌編集委員会等で活動していますが、更なる発展に貢献できれば幸いです。  
6. 現職

1. 岡本 友好 2. 1960/9/27  
3. 東京慈恵会医科大学附属第三病院  
4. 1985 年慈恵医大卒業 同年虎の門病院外科レジデント 1994 年ネブラスカ大学外科リサーチフェロー 1996 年慈恵医大外科講師 2008 年同准教授 2015 年同教授 附属第三病院外科診療部長、副院長  
5. 外科医師の減少は、日本の医療界や社会の大きな問題であり、外科診療が破綻、崩壊しないように外科医師の待遇改善、労働環境の整備に取り組み、外科医師を増やす努力をしたいと考えております。  
6. 現職

1. 神野 浩光 2. 1963/3/6  
3. 帝京大学医学部  
4. 1987 年 慶應義塾大学医学部卒業。共済立川病院外科副院長、慶應義塾大学専任講師、准教授を経て、2015 年 4 月 帝京大学医学部外科学講座教授就任。  
5. この度、代議員に立候補させていただきました。日本外科学会の発展のために尽力する所存でございます。何卒よろしくご願ひ申し上げます。  
6. 新任

1. 河地 茂行 2. 1964/8/26  
3. 東京医科大学八王子医療センター  
消化器外科・移植外科  
4. 1989 年 慶應義塾大学卒業、一般・消化器外科に所属  
2011 年 慶應義塾大学専任講師  
2012 年 東京医科大学外科学第五講座准教授  
2014 年 東京医科大学消化器外科・移植外科学分野主任教授 現在に至る  
5. 専門は肝胆膵外科・移植外科です。2020 年より代議員を務めており医療安全管理委員を拝命しております。日本外科学会のために身を粉にして精進する所存です。何卒よろしくご願ひ申し上げます。  
6. 現職

1. 須並 英二 2. 1964/11/13  
3. 杏林大学 医学部 消化器・一般外科  
4. 平成 2 年東京大学医学部卒業、医師免許取得  
平成 12 年東京大学大学院医学系研究科博士号取得  
平成 22 年東京大学医学部腫瘍外科講師  
平成 28 年日赤医療センター外科部長  
令和元年杏林大学医学部消化器・一般外科教授  
5. これまで消化器外科医として 30 年以上臨床・研究・教育に携わってきました。外科医の状況はますます厳しいものとなっておりますが、これからの外科学会の発展に貢献すべく微力ながら精一杯尽力してまいります。  
6. 現職

1. 深川 剛生 2. 1962/5/19  
3. 帝京大学医学部附属病院  
4. 1988 年東京大学医学部卒業、第一外科入局  
2002 年国立がんセンター中央病院外科医員  
2006-17 年医長 2007 年米国留学  
2017 年帝京大学医学部上部消化管外科教授  
2023 年同外科学講座主任教授  
5. 外科学の進歩のために努力いたします。  
6. 現職

1. 伊藤 香 2. 1975/8/6
3. 帝京大学医学部附属病院外科学講座 Acute Care Surgery 部門
4. 2000年3月に東京慈恵会医科大学を卒業後、聖路加国際病院外科にて日本外科専門医資格取得。その後、米国臨床留学を経て、米国外科専門医および外科集中治療専門医資格取得し、2016年に帰国し、現職。
5. 私は2016年に帰国後、日本女性外科医会の世話人の一人となり、日本における女性外科医の活躍を実現させ、若い世代をサポートしてゆきたいと思っています。女性代議員となり、その一歩を踏み出したいです。
6. 新任

1. 牧野 浩司 2. 1961/8/23
3. 日本医科大学多摩永山病院 消化器外科
4. 1988年日本医科大学卒業。2000年 Johns Hopkins 大学医学部留学。2007年日本医科大学講師、2011年日本医科大学多摩永山病院准教授、2016年 外科部長、教授。2018年 副院長。
5. 外科医師数の増加と、良質な外科専門医の教育・育成を最重要課題としている。特に多摩地区の外科医療の質の向上とそれに伴う研究の発展に尽力し、日本外科学会に貢献したい。
6. 現職

1. 田中 正史 2. 1972/1/13
3. 日本大学医学部 心臓血管外科
4. 1996年日本大学医学部卒業  
三井記念病院 外科レジデント  
自治医科大学さいたま医療センター 心臓血管外科 講師  
湘南鎌倉総合病院 心臓血管外科 部長  
2016年日本大学医学部 心臓血管外科 主任教授
5. 一般病院、大学病院での臨床、教育、研究の経験を生かして、日本外科学会の発展に貢献したいと存じます。
6. 現職

1. 上原秀一郎 2. 1972/8/19
3. 日本大学医学部附属板橋病院
4. 平成9年日本大学医学部卒業、日本大学第一外科、平成15年日本大学大学院修了、米国ハーバード大学留学、平成18年大阪大学小児成育外科、平成29年日本大学小児外科准教授、令和5年同主任教授
5. 本邦の外科学、小児外科学の未来のため、特に若手外科医の育成に重点を置き、微力を尽くしたいと考えております。御支援、御指導のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。
6. 新任

1. 赤坂 純逸 2. 1965/10/14
3. 東京医科大学八王子医療センター
4. 2013年12月東京医科大学心臓血管外科准教授  
2021年2月1日東京医科大学心臓血管外科教授  
2021年4月1日東京医科大学八王子医療センター心臓血管外科診療科長兼任  
現在に至る
5. 働き方改革が導入される反面、ロボット手術といった高度医療の導入も進められており、外科医の処遇や教育体制の変革が求められております。問題解決のために微力ですが尽力させていただきたいと考えております。
6. 現職

1. 窪田 博 2. 1961/11/9
3. 杏林大学病院
4. 1986年筑波大学医学専門学群卒業、東京大学研修医、旭中央病院心臓外科主任医員、クレルモンフェラン大学高度専門インターン、東京大学心臓外科助手、講師、杏林大学准教授、2011年より心臓血管外科主任教授
5. 伝統ある本学会の代議員であることを誇りとし、本学会の運営に貢献し、若手医師の育成、学術誌への投稿、論文査読、医療安全体制への協力など、少しでもお役に立てますよう誠心誠意努力いたす所存でございます。
6. 新任

1. 四万村三恵 2. 1963/1/3
3. 日本大学医学部附属板橋病院 呼吸器外科
4. 1987年 日本大学医学部医学科卒業  
日本大学医学部第二外科学教室入局  
1991年 日本大学大学院医学研究科博士課程卒業  
川口市民病院, 大宮医師会病院, 国立病院東京災害医療センター  
勤務
5. 外科学会に入会し35年以上が経過しました。女性外科医が少ない時代にご指導, サポートしてくださった周囲の方々のお陰だと思えます。今後はこれまでの経験を活かし外科学会の更なる繁栄に貢献したいと思います。
6. 新任

1. 三澤 健之 2. 1960/6/22
3. 帝京大学医学部外科学講座
4. 1986年 帝京大学医学部卒業  
1992年 慈恵医大 大学院修了  
同 外科助手  
2000年 同 講師  
2009年 同 准教授  
2018年 同 柏病院 外科部長  
2020年 帝京大学医学部外科 教授
5. 約40年におよぶ本会会員歴, 各種委員会歴(現 医学用語委員会), 大学教員としての経験を活かし, ①外科診療の重要性(魅力)の啓蒙活動, ②外科医人口減少の抑止, ③若手外科医の教育を中心に尽力したいと考えます。
6. 新任

1. 岡村 行泰 2. 1974/7/15
3. 日本大学医学部外科学系消化器外科学分野
4. 平成12年3月 名古屋大学医学部卒業  
平成23年3月 医学博士取得  
平成23年7月 静岡県立静岡がんセンター肝・胆・膵外科  
令和3年4月 日本大学医学部外科学系消化器外科学分野主任教授
5. 肝胆膵外科, 内視鏡外科を中心に診療, 研究に携わって参りました。いよいよ2024年4月より働き方改革が導入されます。外科学会と連携し微力ながら診療水準の確保, 医師のQOL維持に尽力したいと思っています。
6. 現職